



# HiT ODBC400 ToolBox の使用方法

Ver 1.0

2009 年 09 月 25 日

株式会社クライム

## 目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 対象範囲 .....	2
2. Toolbox の機能説明 .....	3
2.1. Traces について .....	4
2.2. Packages について .....	8
2.3. Data Sources について.....	10
2.4. File Data Sources について.....	15

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

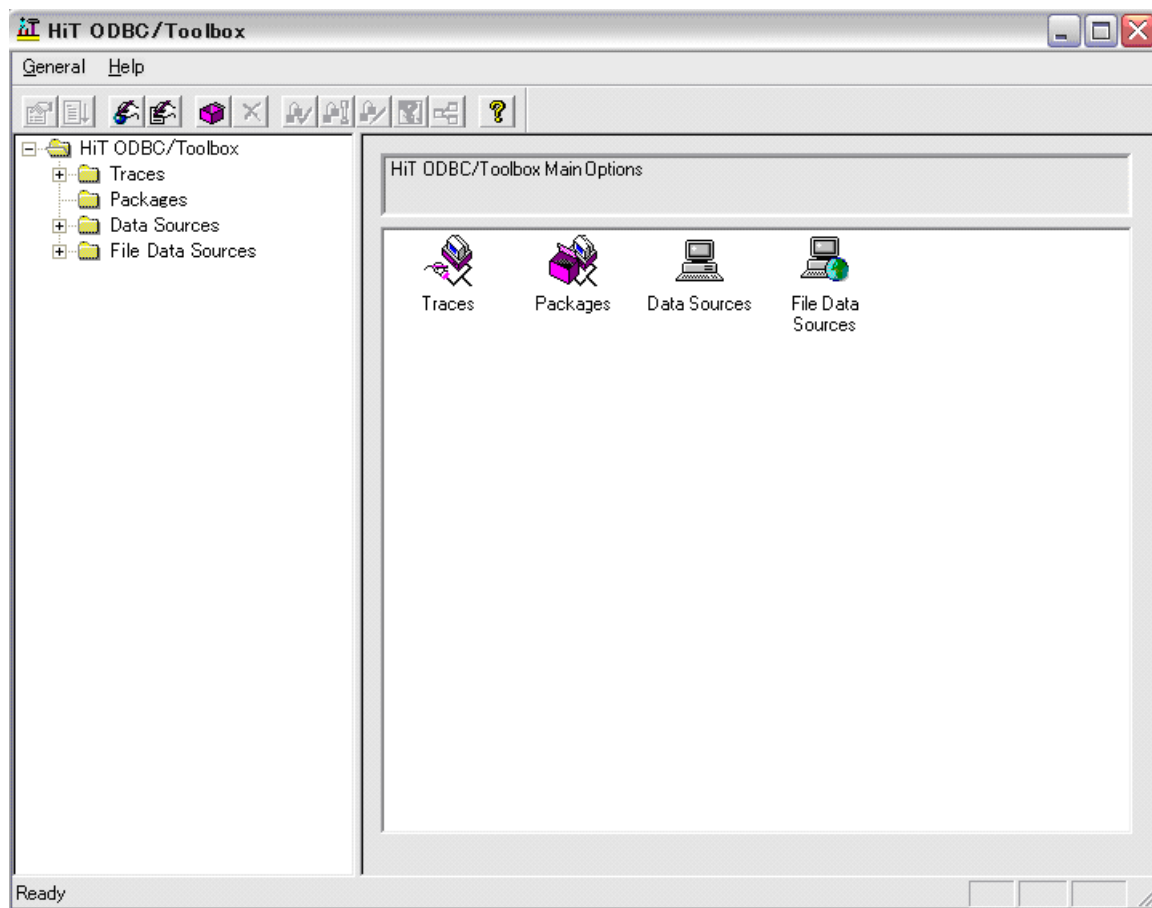
### 1.1.1. 対象範囲

本ドキュメントは、HIT ODBC の設定方法について記載してあります。

## 2. Toolbox の機能説明

ToolBox には下記の 4 つのフォルダがあります。

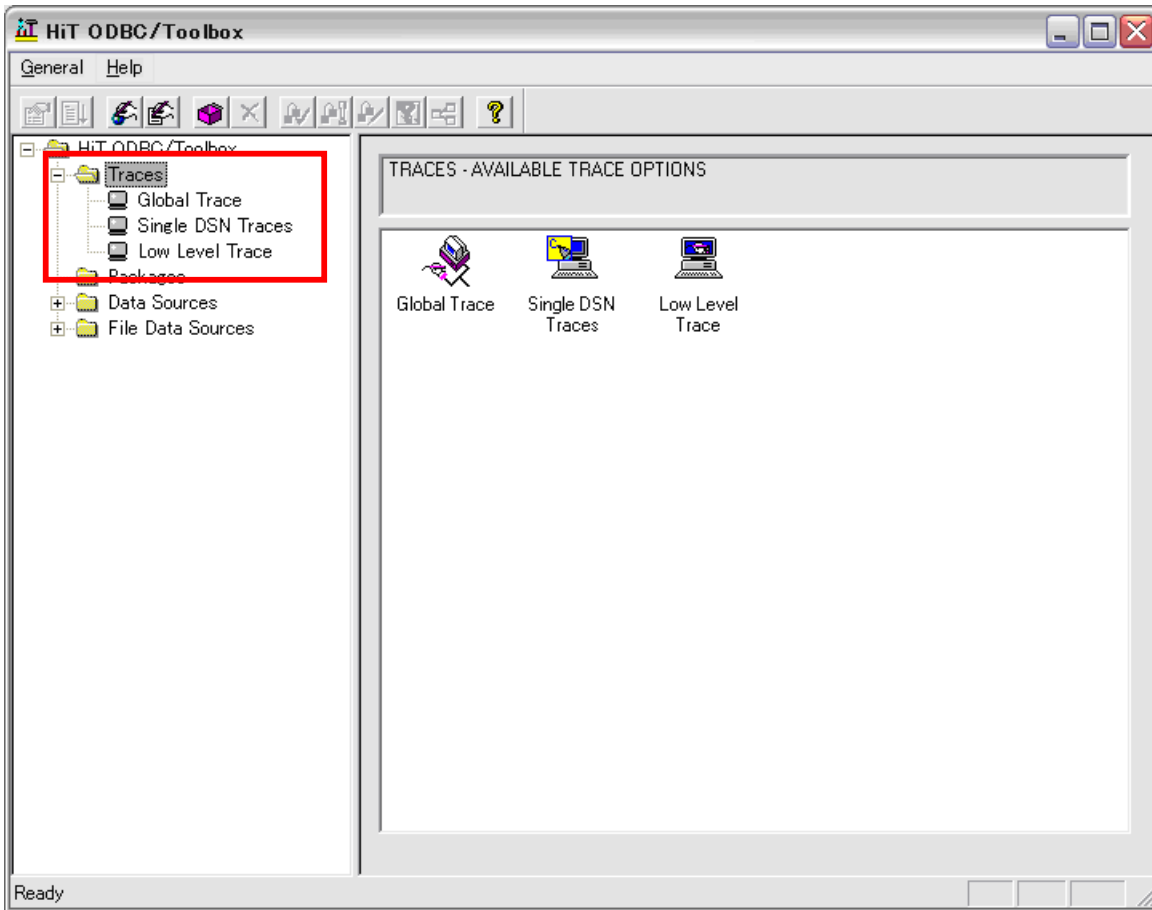
- Traces
- Package
- Data Sources
- File Data Sources



## 2.1. Traces について

Traces は次の 3 種類になります。

- ① Global Trace
- ② Single DSN Traces
- ③ Low Level Trace



① Global Trace(ファイル DSN に定義がある場合使用します。)

**【Trace On/Off】**

● Activate Global Trace

トレースを取得する場合はチェックを入れます。

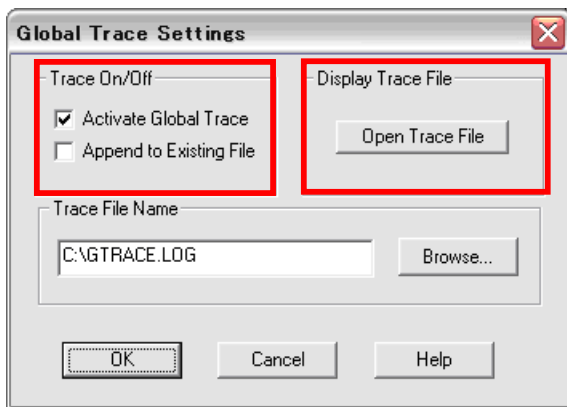
● Append to Existing File

すでに作成されているトレースファイルに追加で書き込む場合にチェックを入れます。

**【Display Trace File】**

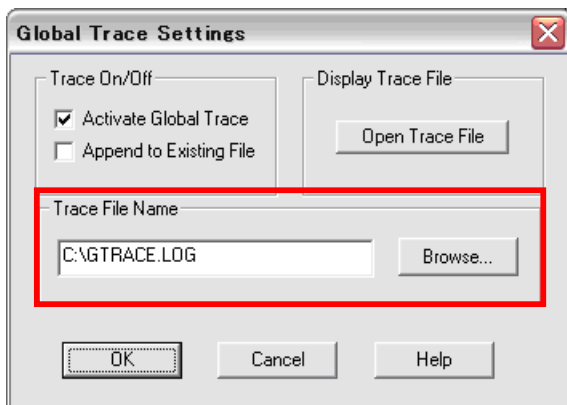
● Open Trace File

トレースファイルを開きます。

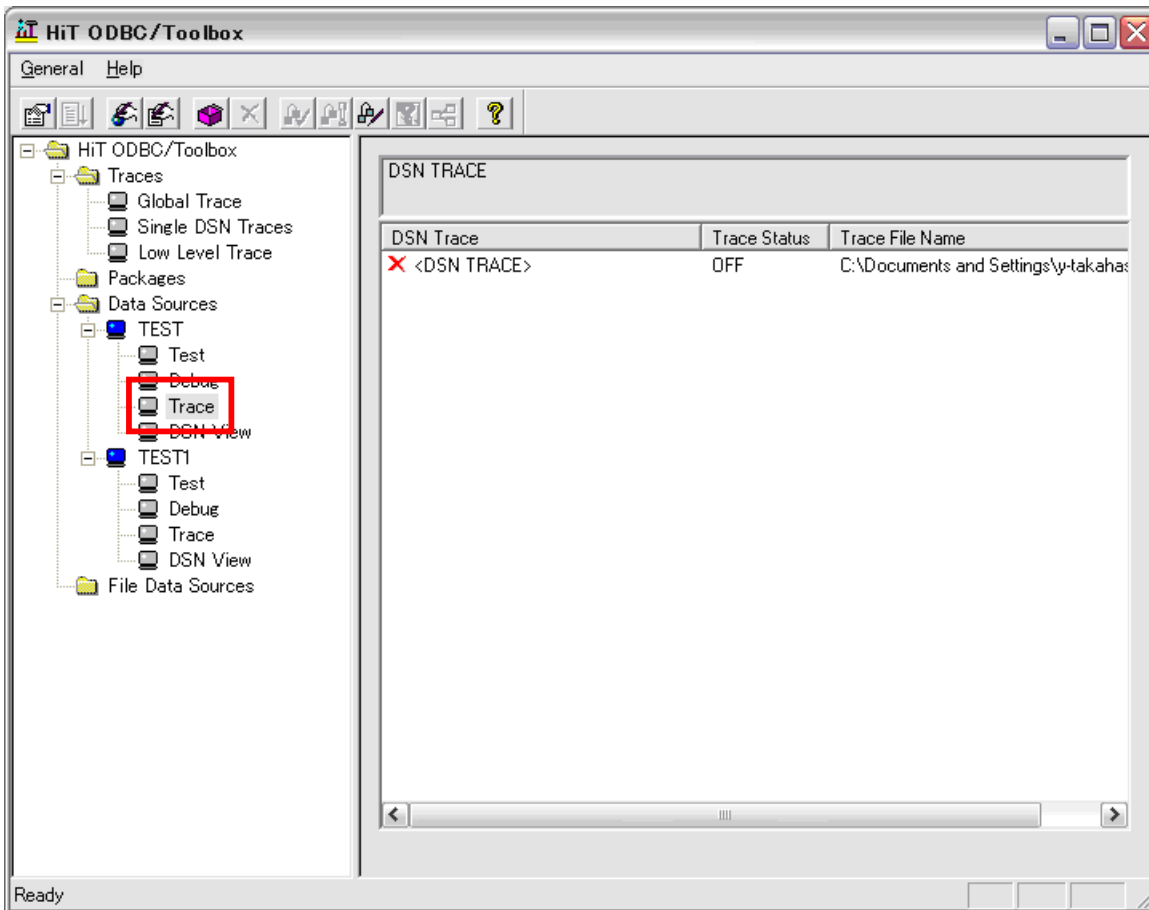


**【Trace File Name】**

● トレースファイルの名前、作成場所を選択します。



- ② Single DSN Traces(ユーザーDSN、システム DSN に定義がある場合使用します。)  
※ Data Sources フォルダのトレースで指定します。  
2.3 Data Sources の Trace の項目を参照して下さい。



### ③ Low Level Trace

#### 【Trace On/Off】

- Activate Communication Trace

TCP/IP と APCC コミュニケーション情報のトレースを取得します。

- Activate ODBS Trace

System i(iSeries、AS/400)上の Optimized Database Server との相互作用を取得します。

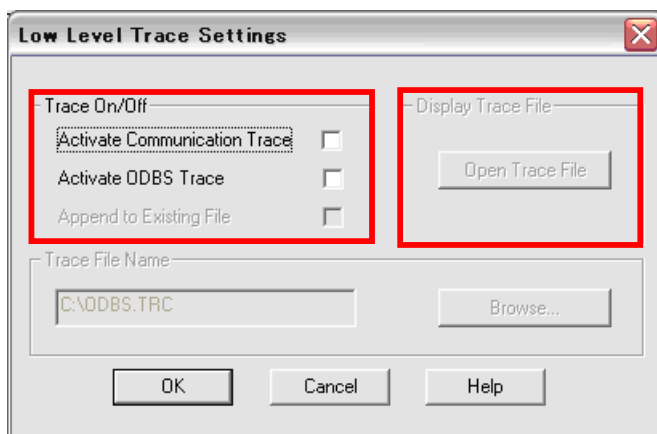
- Append to Existing File

すでに作成されているトレースファイルに追加で書き込む場合にチェックを入れます。

#### 【Display Trace File】

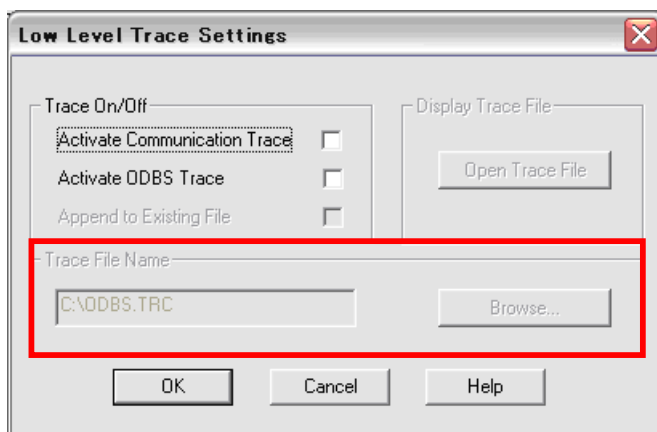
- Open Trace File

トレースファイルを開きます。



#### 【Trace File Name】

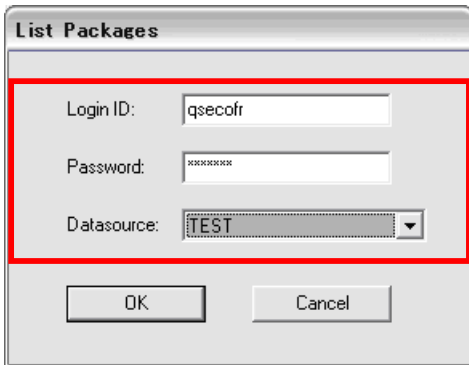
トレースファイルの作成場所を選びます。





## 2.2. Packages について

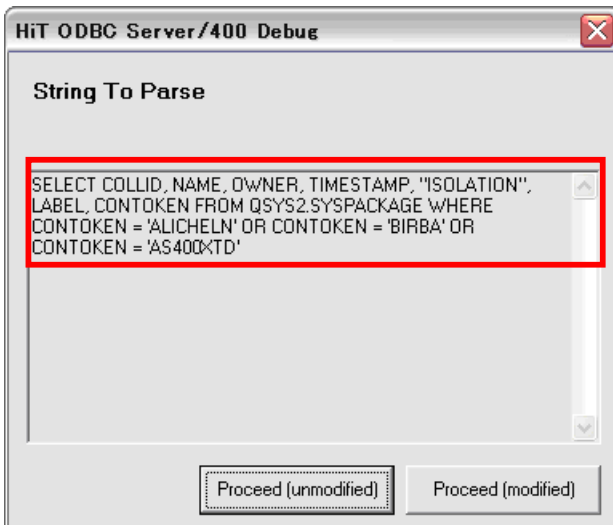
- ① Login ID、Password を入力して、現在定義済みの Datasource を選択します。



The 'List Packages' dialog box contains the following fields and controls:

- Login ID:
- Password:
- Datasource:
- Buttons: OK, Cancel

補足) Activate Debug が ON で SELECT のステートメントを選択している場合下記のダイアログが表示されます。  
(下記の SQL で表示する Library の情報を抽出します)

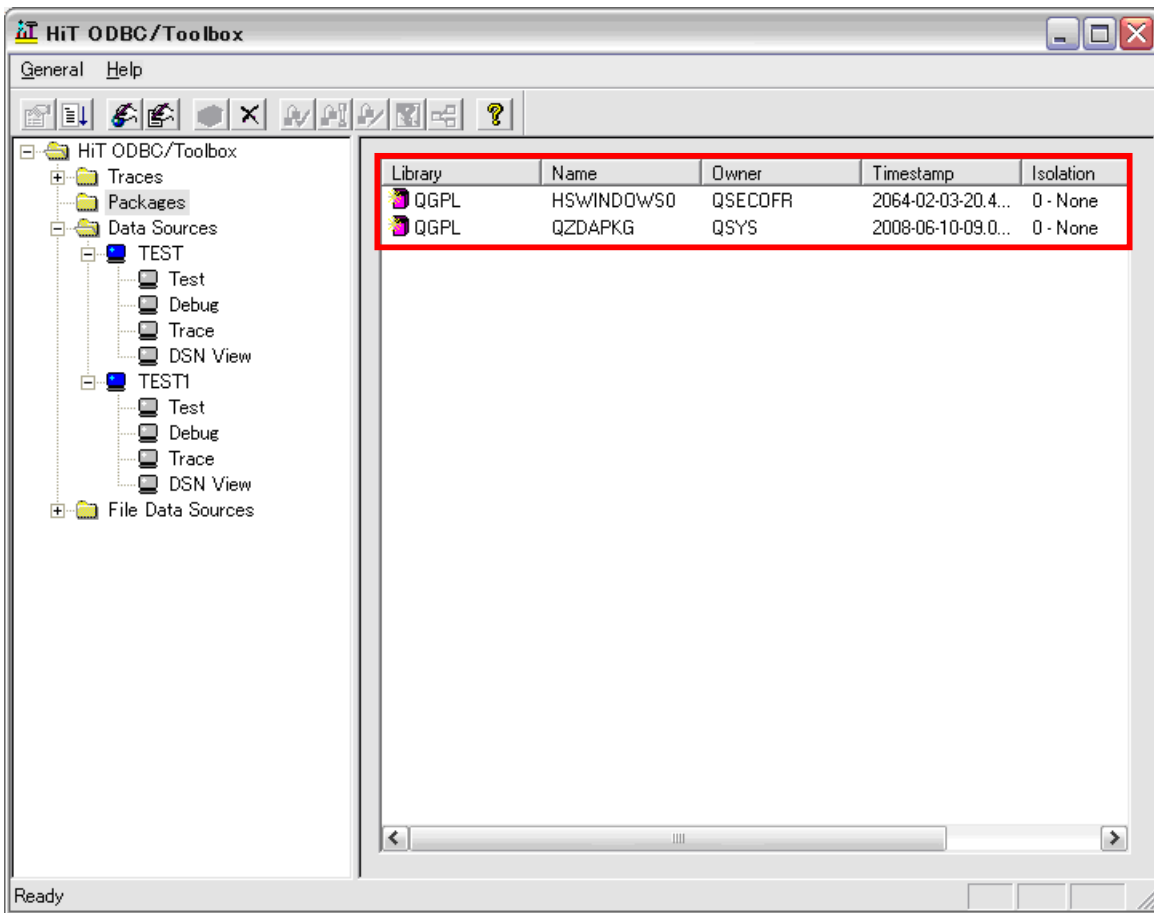


The 'HiT ODBC Server/400 Debug' dialog box displays the following SQL query in the 'String To Parse' field:

```
SELECT COLLID, NAME, OWNER, TIMESTAMP, "ISOLATION",  
LABEL, CONTOKEN FROM QSYS2.SYSPACKAGE WHERE  
CONTOKEN = 'ALICHELN' OR CONTOKEN = 'BIRBA' OR  
CONTOKEN = 'AS400XTD'
```

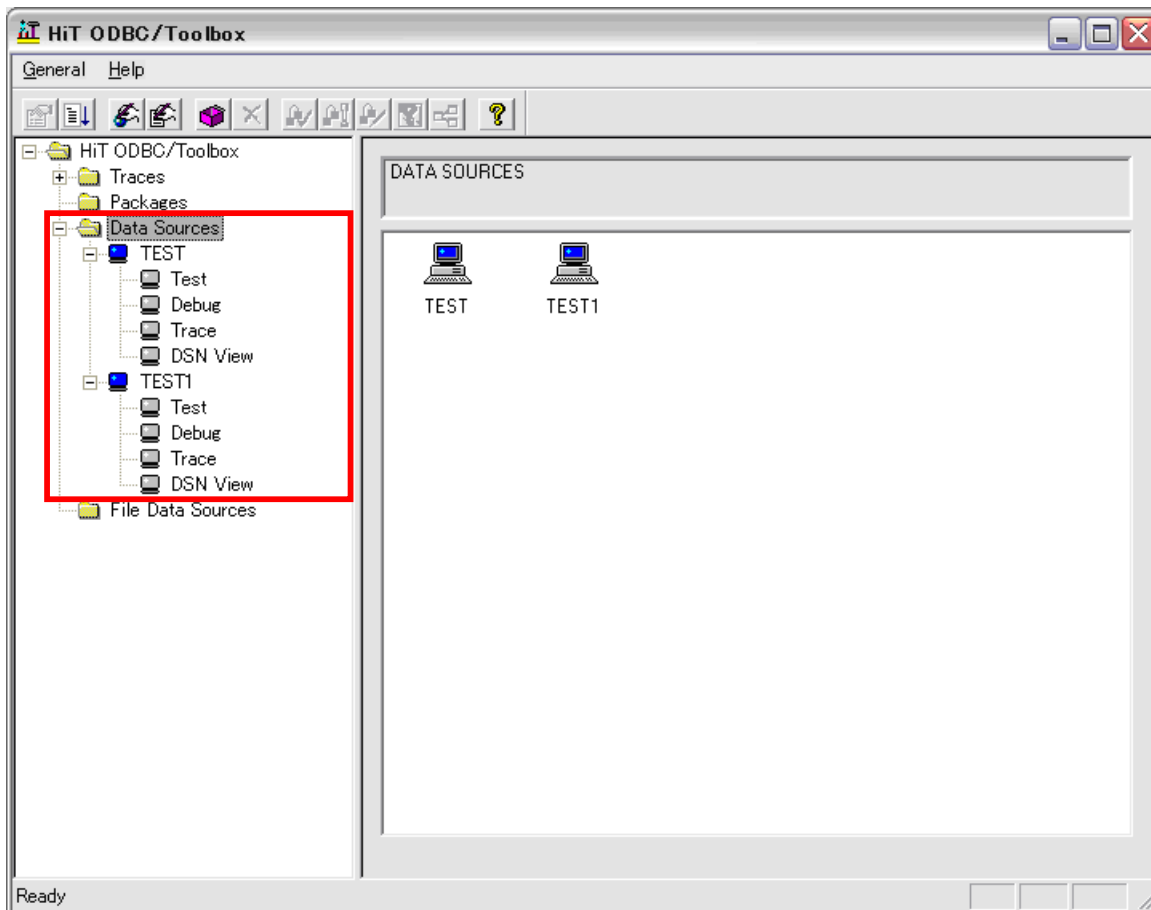
Buttons: Proceed (unmodified), Proceed (modified)

② root の Library の情報が表示されます。



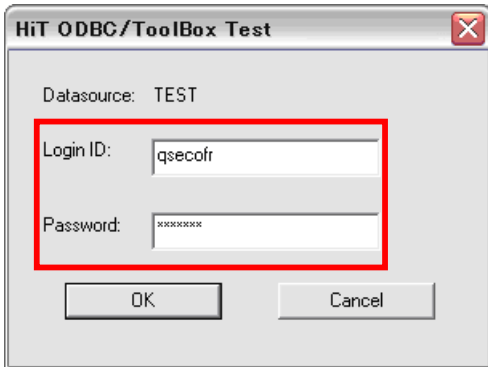
### 2.3. Data Sources について

システム DSN に追加された情報が表示されます。

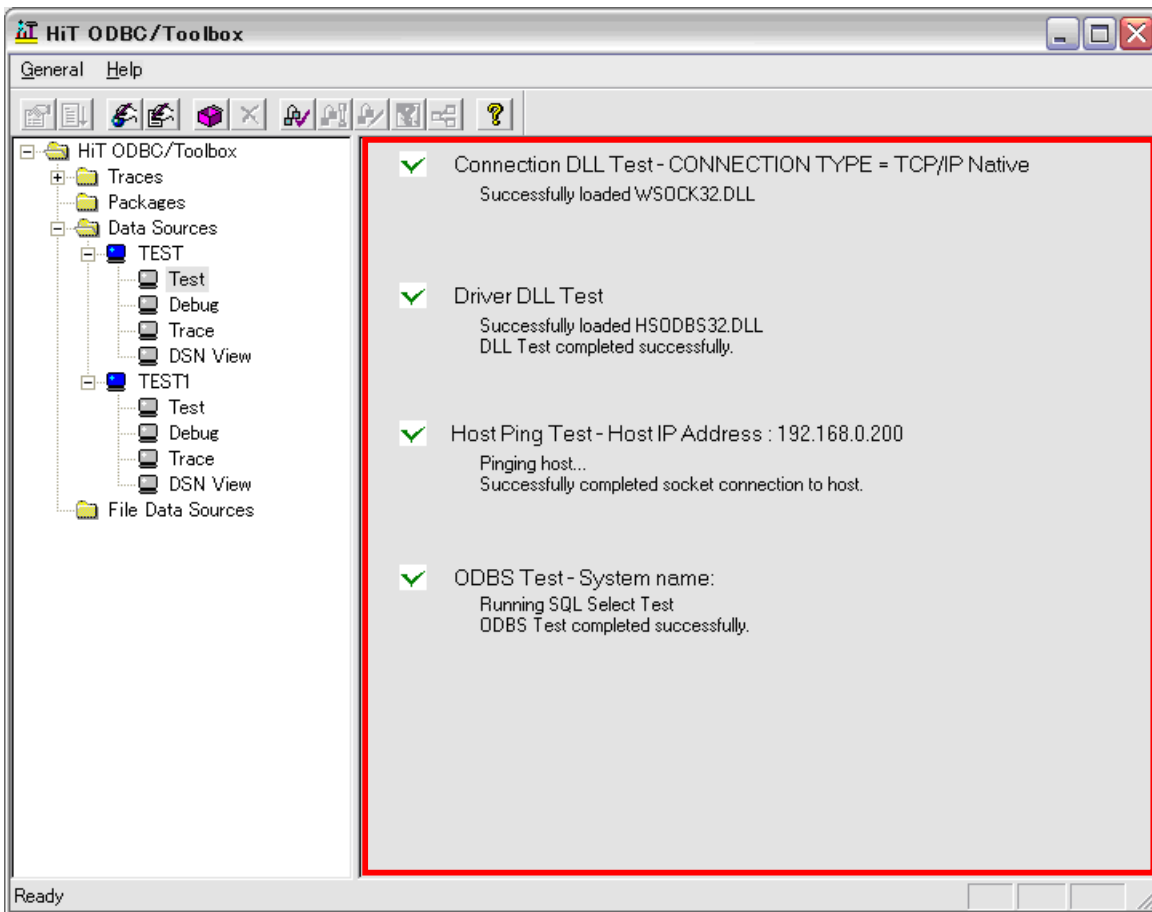


- Test(コネクションのテストを行います)

① Login ID、Password を入力します。



② コネクションが正常に行える場合は次のような表示がされます。



- Trace(トレースファイルを取得するための設定を行います)

**【Trace On/Off】**

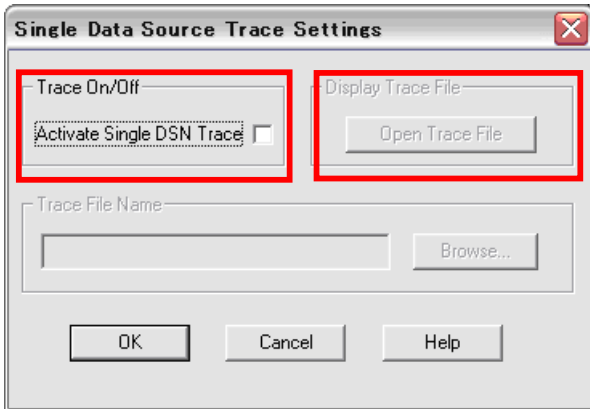
- Activate Single DSN Traces Trace

トレースを取得します。

**【Display Trace File】**

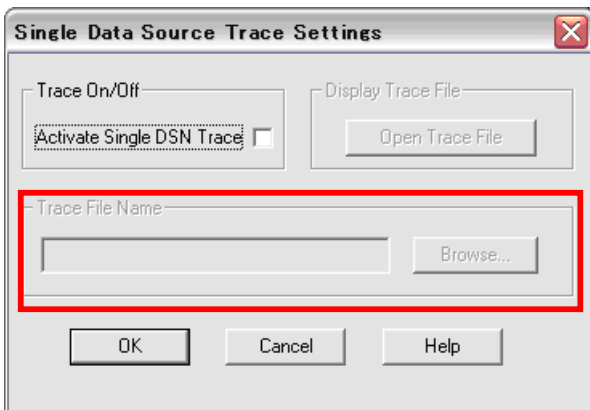
- Open Trace File

トレースファイルを開きます。



**【Trace File Name】**

トレースファイルの名前、作成場所を選択します。

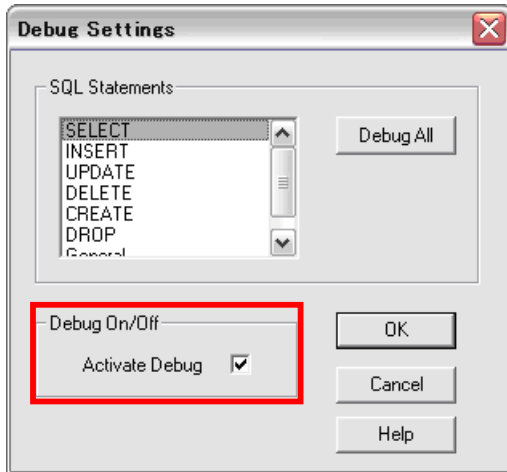


- Debug(デバックの設定を行います)

**【Debug On/Off】**

- Activate Debug

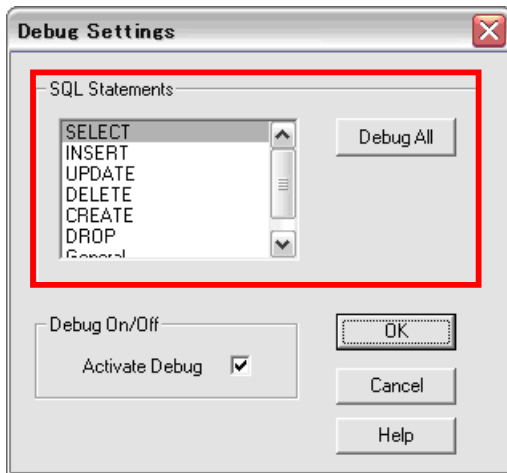
チェックがある場合デバックが可能です。



**【SQL Statements】**

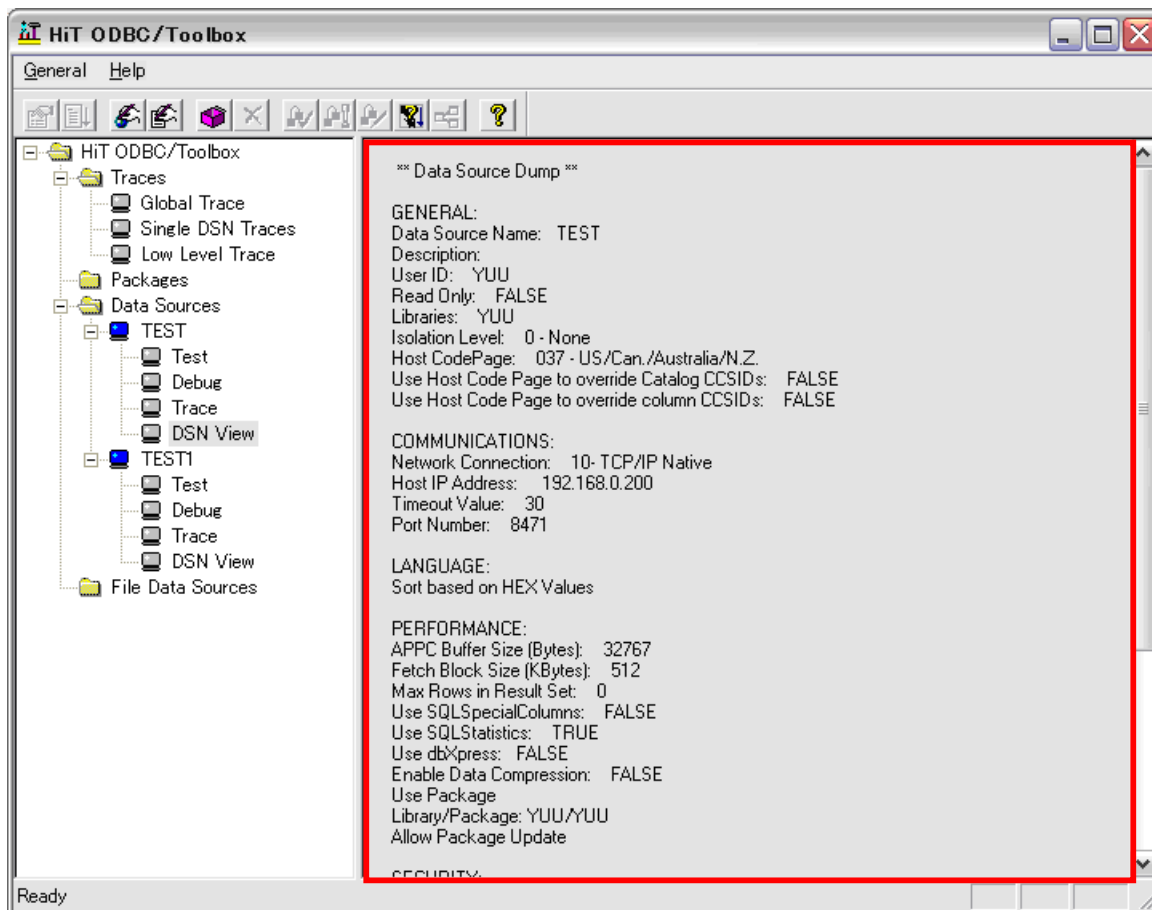
チェックを入れた SQL のステートメントのデバックが可能になります。

※選択した SQL ステートメントの処理が行われた時にダイアログが開き、SQL 文が表示されます。

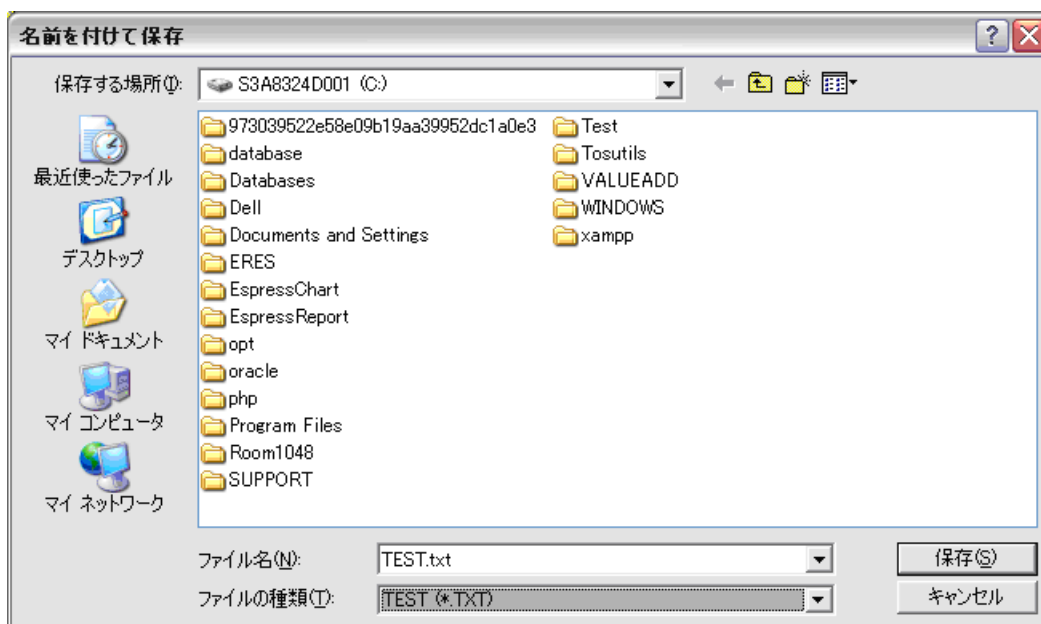


※Debug All を選択することですべてのステートメントの選択が可能です。

- DSN View(作成した DSN の概要を確認できます)



補足)ダブルクリックすることでテキストでの出力が可能です。



## 2.4. File Data Sources について

「コントロールパネル> 管理ツール> データソース(ODBC)> ファイルDSN」  
で定義づけた場合にその設定情報が表示されます。

